

令和7年度第4回（第9回）山添村義務教育学校設立推進委員会 概要

令和8年2月24日（火）
18時00分～19時10分
山添村役場 中会議室

1 開会

・開会挨拶 委員長 大矢 慎吾

ここ数日は寒暖差が激しく、体調を崩されている方も多いのではないでしょうか。山添村の子どもたちにおいても、一時インフルエンザが非常に流行していたものの最近は落ち着いてきたと聞いている。兄弟姉妹間での感染もあるが、小学校と中学校が一緒になったことによる影響はないのかという視点も含め、何か対策できることがあるのかについても検討していく必要があるのではないかと思います。本日の協議もよろしく願います。

※欠席委員（岡田浩幸委員）

2 協議事項

(1) 「やまぞえ学」の全体計画について

事務局	<p>【事務局から資料に沿って説明】</p> <p>○全体計画</p> <p>→WG（教育内容策定部会）において、1年間の協議を経て完成させた。</p> <p>→令和8年度は、この全体計画を基に「やまぞえ学」を試行的に先行実施していく予定。</p> <p>→試行する中で変更していくこともある。</p> <p>→学校運営協議会での熟議を通して、学校教育目標を設定。</p> <p>【質疑・応答・意見】</p>
川畑委員	<p>令和5年3月に作成された社会科の副読本「わたしたちのふるさと山添村」はどのように活用されるのか。</p>
事務局	<p>やまぞえ学で「わたしたちのふるさと山添村」を活用していくことについて、WGでの具体的な協議はできていない。ただ、3年生や4年生での社会科の学習が「やまぞえ学」の基盤になっていくことは考えられる。</p> <p>WGの協議において、教材化できるような山添村のヒト・モノ・コトの掘り起こしが必要であることは教員に伝えている。</p>
川畑委員	<p>資料にある高知市立義務教育学校土佐山学舎の取組や県教育委員会が主催する「地域と共にある学校づくり」研修会での葛城市立當麻小学校の取組の話聞かせてもらう機会があったが、総合的な学習の時間などで地域との連携を深めていく必要を感じた。地域の伝統芸能における継承の課題も含め考えてほしいと思う。</p>
事務局	<p>全体計画の作成に至るまでに、総合的な学習の時間に行っていた今までのふるさと学習について、ふり返るところから協議をスタートした。学校の教</p>

	<p>員が入れ替わる中で、様々な取組が形骸化していないかも含め協議をしている。教員に対しては、山添村の子どもたちに山添の何を誇りに思ってもらいたいのかということも考えながら取組を進めてほしいと願っている。そのようなところで、地域の方々が教員に寄り添っていただけるのであれば、なお心強い。</p>
徳谷委員	<p>この全体計画は公表していくのか。</p>
事務局	<p>やまぞえ学をどのように取り組んでいくのかを協議した結果の成果物である。公表することはない。</p>
委員長	<p>週に何時間行うのか等の具体的なことは決まっているのか。</p>
事務局	<p>大きな枠組みとして全体計画を作成したが、具体的なことは決めていない。子どもたちには探求活動を通じた学びをしてほしい。細かな部分を決めてしまうとそれに即した取組を行うことに一生懸命になってしまわないかという懸念がある。</p>
井岡委員	<p>情報の収集として、1，2年生にはICTやインターネットの記載はないが、iPadは使用しないのか。</p>
事務局	<p>ICT等の記載がないからiPadを活用しないという意味ではない。必要に応じた活用をしていくという認識である。ただ、1，2年生においては、絵を描いたり、作文したりと、実際に紙媒体に書くことが大切になる。子どもたちの実態に応じながら柔軟に活用していくことになる。</p>
委員長	<p>AIの進化が著しいが、AIの活用なども考えているのか。</p>
堺委員	<p>自分自身が使いこなせているのかと感じる。それを子どもたちに活用させるイメージが、まだ持てないでいる。</p>

(2) 義務教育学校開校に伴う服装等のきまりについて

堺委員	<p>【堺委員から説明】 ○中学校・小学校の入学説明会での資料をもとに説明 →小・中学校在校生の保護者にも同様の文書を配布している。 →令和9年の義務教育学校開校にきまりをスタートさせるのではなく、令和8年度から義務教育学校を見据えたきまりを示していくことにした。</p>
川畑委員	<p>【質疑・応答・意見】 色は指定しないという表記があるが、「迷彩柄」「ヒョウ柄」などはどうなのか。</p>
堺委員	<p>小・中学校在校生の保護者からも同様の質問がでてくるだろうと思う。他の質問も含め、集約した質問にQ&Aのような形で回答できればと思う。</p>

徳谷委員	小学校では、今でも授業中は、体操服で過ごしているのか。
堺委員	小学校は、登校後、制服から体操服に着替え、下校前に体操服から制服に着替えている。以前に保護者に対して服装に関するアンケートを実施した際、そのことで「制服の意味はあるのか」という意見を多数いただいている。小学校としては、今後、見直していかなければならないと考えている。
委員長	最近、裾が広いズボンが流行っている。学校で過ごすには似つかわしくないとと思うのだが、学校としてどうか。
堺委員	教員だけでなく、児童会や生徒会を通して、どのような服装が学校生活に適しているのかということ子どもたちと一緒に考える機会も設けていきたい。一旦、スタートするために「きまり」をつくったが、一定の期間で見直していくことも必要になるだろう。
井岡委員	絵だけではわからないこともある。実際に親同士の中では、これは大丈夫なのかどうかを写真で共有している。初めのスタートは親子でしっかりと話し合うしかないのかと思っている。絵だけの表現でなく、例として具体的な写真を示してもらいたい。
植田委員	仕事の関係で関東地方の子どもたちをよく見かける機会がある。派手な子も見かけるし、ジャージ姿の子もいる。しかし、成長と共に落ち着いた雰囲気になっている感じがする。子どもたち自身が自分で考えて決めるということが大切になってくると思う。子どもたち同士が議論しあうようなことも大切だと思う。大人が押し付けたきまりを守らせるより、自分たちで決めたことを自分たちが責任をもって守るという方が理屈に合うのではないか。

(3) 令和8年度義務教育学校設立推進委員会及びWG会議の開催日程について

事務局	<p>【事務局から資料に沿って説明】</p> <p>○義務教育学校設立推進委員会とWG会議の開催日程について</p> <p>→年間4回の推進委員会を開催予定</p> <p>→年間11回のWG会議を開催予定</p> <p>【質疑・応答・意見】</p>
各委員	特になし

(4) その他

井岡委員	小学校校舎の活用は検討されているのか。
事務局	どのようなことに活用できるかは、現在、検討中である。建物の安全性も考慮し、民間のアイデアも入れながら検討していく。

井岡委員	保護者から休日に運動場で子どもたちが遊ぶために使用することはできるのかという声がある。検討していただければ有難い。
川畑委員	小学校校舎を民間が活用するとなると、子どもたちが遊ぶのは難しいのではないか。
井岡委員	民間の活用が決まったなら仕方ないと思うが、そうでないなら、子どもたちが遊ぶ場所として使用させてもらえたらと思う。小学校にある遊具は残ったままなのか。
事務局	ターザンロープの遊具は移設する予定で進めている。その他の遊具については、安全性を考慮に入れながら、状況によっては、撤去することも考えなければならぬと思っている。
井岡委員	就学前のお子さんをもつ保護者にとっては、安全に走り回れる場所があることが有難いと思っている。

3 その他

- 本日の協議内容については、次回の教育委員会及び村議会にて報告する。
- 山添村ホームページにおいても情報発信に努めていく。
- 次回の推進委員会は令和8年6月下旬頃に開催を予定。改めて日程調整をお願いする。